

同窓会協力募金ご協力ありがとうございました

同窓会会員・会費協力募金協力者名簿

卒業年度順・敬称略
平成23年12月末日現在

卒業年度	氏 名	卒業年度	氏 名	卒業年度	氏 名	卒業年度	氏 名	卒業年度	氏 名	卒業年度	氏 名
元教職員	金澤 洋	昭和23年	捺本 忠次	昭和33年	丸山 一	昭和39年	入江 晃央	昭和45年	吉川 敬一	昭和58年	渡辺 敏勝
	池崎真理子		三木 憲三		清水 弘司		往田 雄三		北川 徹	昭和61年	田村 和照
	林 敏夫		西本 芳男		神山 興三		堀岡 宰充		国府島勇三		吉田 典生
	大谷 宗平		藤滝 昇		浦野 武志		岡村 奉来	昭和46年	橋本 幸弘	昭和62年	田中 憲一
	隅田 雅裕		武岡 昭夫	昭和35年	有年 安永	昭和40年	城島 末明	昭和48年	岡田 望		松井 勝博
	松田 直		山本 智生		岡田 武志		匿名希望		速水 隆		岩淵 浩之
	棒谷 啓二		栗田 文吉		振津 和生	昭和41年	西田 和夫		山本 武司		細田 真一
	倉石 文昭		西佛 之光		浜元 孜		阪田 裕弘	昭和50年	中尾 明		塩崎 哲治
	松井 哲海	昭和24年	寺西 克美		平岡 勇		喜多 憲治	昭和51年	原 強	昭和63年	栗栖 和哉
昭和7年	木下彌三郎		辻本 賢次		竜田 洋		江蔵 通芳		星野 勝	平成4年	西澤 宏之
昭和9年	岡田 耕一	昭和26年	神保 信行		義永 忠孝		山崎 定男		樋口 忠博	平成9年	秋保 圭佑
昭和11年	福島 頼夫		古川 貞夫		山本 正明	昭和42年	足立 宗央	昭和52年	岸間 忠秀	平成10年	前田 正人
昭和14年	山口 熙		杉山 友洋	昭和36年	前川 廣三		米川 修二		山本 修平	平成11年	芥子 久倫
昭和16年	西村 一男	昭和28年	齊藤 勇		前田 省三		小林 孝一	昭和53年	康村 則雄	平成13年	酒井 正隆
	津田 眞治	昭和29年	三原 地生	昭和37年	村田 正明		寺田 賢作	昭和54年	曾川 透		北川 功
	木下 浩	昭和30年	堀 佳夫	昭和38年	松村 清正		山内 直行		吉井 寛		魚谷 知生
	河田 孝四		石井 正一		大野 健三		後藤 保	昭和56年	延田 容一	平成14年	中島 隆公
昭和17年	川上 茂	昭和31年	辻橋 佑一		中谷 亨		栗原 貞雄		森本 哲朗	平成20年	横場 勇貴
	菊野 良平	昭和33年	村上 起央		岩本 博義		松本 純一		密原 武信	平成21年	越前 龍司
昭和18年	吉田 藤一		石川 隆一		辻井 宏	昭和43年	飯川 隆司	昭和57年	高木 宣宏		谷口 大介
昭和21年	岡本 修		吉田 健		大矢 登		内海 昭		永野 路博	平成22年	首藤 誠弥
	木村 光延		川村 隆彦	昭和39年	宮脇 可典	昭和44年	宮野 孝雄	昭和58年	川合 浩幸		

今回ご案内により、ご逝去され、ご家族からご連絡頂いた卒業生の方々

昭和4年	商Ⅱ	山口 貞次	昭和24年	商Ⅱ	辻本 賢次	昭和44年	高商D組	石田 正明
昭和7年	商Ⅰ	木下彌三郎	昭和25年	高普	杉本 庄七	昭和45年	高商C組	広野 至
昭和8年	商Ⅱ	米倉 修一	昭和26年	高商A組	岡本 得三	昭和45年	高商H組	北 克美
昭和10年	商Ⅰ	五十嵐喜巳男	昭和26年	高商A組	岡田 勉	昭和45年	高普L組	川嶋 高行
昭和10年	商Ⅰ	関 愛之助	昭和35年	高商E組	末広 健治	昭和45年	高普L組	古山 勝
昭和12年	商Ⅰ	西口 慶治	昭和35年	高商E組	谷田 親彦	昭和46年	高商B組	島野 信夫
昭和14年	商Ⅰ	西畑 繁	昭和35年	高普H組	藤田 誠一	昭和50年	高商A組	森山 隆男
昭和15年	商Ⅰ	葛上 徳治	昭和37年	高商E組	川上 幸夫	昭和54年	高普Ⅰ組	吉岡 稔哉
昭和15年	商Ⅰ	倉田筈太郎	昭和37年	高商E組	坂井 護	昭和56年	高普K組	玉利 昭美
昭和15年	商Ⅰ	三雲 宗信	昭和37年	高商G組	杉本 昌繁	昭和58年	高普Ⅰ組	角谷 勝也
昭和16年	商Ⅱ	倉田 秋夫	昭和39年	高商D組	実安 敏男	昭和61年	高普F組	今東 和博
昭和16年	商Ⅱ	滝下 邦夫	昭和40年	高商D組	乾 隆樹	昭和63年	高普H組	津々見美紀男
昭和17年	商Ⅰ	濱本 辰己	昭和40年	高商H組	高橋 進	平成2年	高普F組	岩田 典之
昭和18年	商Ⅰ	旭 敏一	昭和41年	高商H組	黒住 行男	平成8年	高普Ⅰ組	丸山 峰志
昭和20年	商Ⅱ	藤井 義賢	昭和42年	高商B組	松井 栄作			
昭和23年	商Ⅰ	宮島 和男	昭和42年	高普J組	竹内 茂憲			

(敬称略)

編集後記

いくつになっても友との集いは懐かしもあり、心に残るもの。今回定番特集として、「還暦同期同窓会」「同窓の近況」「恩師の近況」等を掲載しました。ホームカミングデーでは色々思い出話に華が咲き、そうこうしている間に時は流れ惜しみながら再会を約束している様子を見るに、次会同窓会の盛会を期待したいと思います。会報34号をお届けします。母校発展の上で、母校と共生していく一歩となる交流誌である事を願っております。会員からの情報コーナーも設けておりますので、原稿をお寄せください。

関西大学北陽高校同窓会ホームページ <http://www.hokuyo-ob.jp/>

広報委員会



今こそ、PTA・クラブOB会との絆を大切にしていきたい

関西大学北陽高等学校同窓会 会長 足立 宗央 (昭和42年度卒業)

同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会運営に対して、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年はこれまで経験したことのない未曾有の東日本大震災が起き、我が国が地震列島であると同時に原発列島であることを認識させられました。被災地の日も早い復興をお祈りしたいと思います。

同窓会の方針は、本年度も言うまでもなく三位一体(学校・恩師・同窓生)の実現である「再会に繋がる活動」を継続していきたいと考えています。と同時に同窓会単体としての活動から、PTA・クラブOB会との連合体へと拡大を図り、「母校北陽」の期待に応えられる活動を目指していきたいと考えております。

昨年度は北陽岡田会(硬式野球部OB会)、PTAとの連携により、9月4日(日)京セラドームに於いて、「オリックス岡田監督を応援しよう会」が開催されました。300名を超える参加を得て、観戦以上に絆を体感できた一日でした。今年も京セラドームでの観戦が計画されていますので、参加して頂きますようお願い致します。

昨年、4回目を終えた「ホームカミングデー&還暦同期会」は、

全国駅伝3連覇偉業の報告と 念願の体育館建替え寄付のお願い

関西大学北陽高等学校 学校長 鈴木 清士

平成22年度は、

- 関大北陽としての完成年度を迎え、初めて卒業生を出した。
- 北陽中学校が開設され、中高一貫教育がスタートした。
- 北陽開校85周年にあたる。という3つの意味のある記念の年になりました。その意味で、平成23年度は「さらに新たな一歩を踏み出した年」であったといえます。11月12日には恒例の「第4回ホームカミングデー&還暦同期会」を開催していただきました。

日頃から会の運営を支えてくださっています北陽同窓会関係者の方に、心より感謝申し上げます。また、過日はインターハイ他で活躍したクラブ員に対して「課外活動優秀賞」を同窓会から頂きました。重ねて御礼を申し上げます。

さて、近況報告として2点だけ申し上げたいと思います。

1点目は、高校陸上部が駅伝で大阪3連覇を成し遂げました。北陽だけではなく日本全体が暗いニュースが多かったのですが、2011年の最後を素晴らしいニュースで飾ることができました。2年前に常勝清風高校を破り、今年は本命と目されての

堂々たる優勝でした。2点目は、体育館建替えの件です。今年の6月着工。25年の8月完成予定、設計の基本プランも出来上がりました。1階は柔道場と多目的に使えるトレーニング場、そしてプールが入ります。2階はバスケットボールが2面(あるいはバレー2面、バスケットが1面)取れる「アリーナ」の機能と、1000人収容の式典や説明会などが可能な「講堂」の機能をもったスペースにします。観客席のうち600席はボタン一つで短時間のうちにセットできる機能が付いています。この2階の上には雨天用の走行路と観客席を設けます。

総工費は20億円の予定ですが、私たちの至誠を表すためにも募金活動を展開していく必要があります。校長として職場の教職員に対しても何がしかの寄付金をお出し頂く予定になっていますが、同窓会の皆様にも主旨をご理解の上、何卒ご協力をお願い申し上げる次第であります。今のところ6年のスパンによる募金期間を考えています。

どうかいつまでも「北陽スピリット」と「北陽愛」を忘れることなく、今後も温かいご指導とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成23年度 第34期定期代議員会開催

平成23年4月23日(土)午後4時00分より母校1階大会議室にて代議員(登録)178名中、26名出席頂き、来賓の方、役員も含め合計38名の方々にご出席賜りました。

内容は事業経過報告および次年度(35期)の事業方針について審議頂き、議決を賜り全ての議題は滞りなく可決致しました。

また代議員会終了後、二次会と称した出席希望の方と懇親会を催し談笑の上あつという間に終了致しました。なお会計報告及び予算は次の通りです。

総務委員会 北川 徹 (昭和45年度卒)



平成22年度 決算報告

自 平成22年 4 月 1 日
至 平成23年 3 月31日

収入の部		(単位 円)	
科 目	予 算	実 績	摘 要
前 期 繰 越 金	4,558,216	4,558,216	
会 費	2,850,000	2,874,000	479名(22年卒 6名/23年卒473名)
会員・会報協力金	990,000	585,000	117名(21年度16名/23年度101名)
代 議 員 会 費	100,000	82,000	41名×2,000
雑収入(受取利息)	9,000	12,043	預金利息
総 合 計	8,507,216	8,111,259	

支出の部

科 目	予 算	実 績	摘 要
会 議 費	30,000	0	
代議員会会議費	100,000	75,735	
人 件 費	0	0	
交 通 費	120,000	64,650	各委員会、役員会等交通費
消 耗 品 費	80,000	101,514	インクジェット、封筒、宛名シール
通 信 費	600,000	1,525,559	会報33号発送費、電話料金、切手、葉書
慶 弔 費	1,117,500	734,000	卒業祝贈呈品、課外活動副賞、教員お礼
支 部 費	100,000	73,370	関東支部活動費
雑 費	250,000	216,371	コピー機使用料、振込手数料他
予 備 費	0	0	
小 計	2,397,500	2,791,199	
会 報 発 行 費	1,340,000	1,393,375	会報、HP更新料、名簿保守メンテ
組織・事業運営費	100,000	-27,627	協力募金払込料、同期同窓会事業
小 計	1,440,000	1,365,748	
合 計	3,837,500	4,156,947	
次 期 繰 越 金	4,669,716	3,954,312	
総 合 計	8,507,216	8,111,259	



平成23年度 予算書

自 平成23年 4 月 1 日
至 平成24年 3 月31日

収入の部		(単位 円)	
科 目	予 算	摘 要	
前 期 繰 越 金	3,954,312		
会 費	4,000,000	400名×10,000(卒業予定者400名)	
会員・会報協力金	100,000	会報発行5年に1回に変更のため	
代 議 員 会 費	100,000	50名×2,000	
雑収入(受取利息)	9,000	預金利息	
総 合 計	8,163,312		

支出の部

科 目	予 算	摘 要
会 議 費	0	
代議員会会議費	100,000	
人 件 費	0	
交 通 費	100,000	役員会、各委員会等交通費
消 耗 品 費	100,000	インクジェット、封筒、事務消耗品等
通 信 費	600,000	会報発送費、電話料、切手、葉書等
慶 弔 費	1,000,000	卒業祝贈呈品、課外活動副賞、お礼
支 部 費	50,000	関東支部活動費
雑 費	200,000	コピー機使用料、振込料
予 備 費	1,500,000	母校部活支援他資金として計上した
小 計	3,650,000	
会 報 発 行 費	500,000	会報発行(2,000部予定)、HP運用等
組織・事業運営費	0	
小 計	500,000	
合 計	4,150,000	
次 期 繰 越 金	4,013,312	
総 合 計	8,163,312	

第4回 ホームカミングデー開催

昨年、11月12日(土曜日)、「第4回ホームカミングデー&還暦同期会」を母校関大北陽高等学校・校舎をお借りして、還暦世代の昭和45年度卒業生を中心に、35名の同窓生が参集しました。

当日は、林 敏夫先生、金澤 勇先生、金澤 洋先生のご出席を頂き、母校のジャズバンド部による歓迎コンサートに始まり、懐かしの学食・懐かしの授業では、40数年前の楽しい時間を過ごして頂いたと思います。

当日、飛び入り参加してくれた母校陸上競技部の選手による駅伝壮行会を実施し、福武前理事長、当日参加の皆さんと同窓会から計30万円を贈呈致しました。

ー 60歳以上の同窓の方にお知らせー
ホームカミングデー&還暦同期会の告知版です
来る11月10日(土)、母校(上新庄)の校舎をお借りして開催致します。
実行委員会からのお願いです。
当日のスタッフも大募集しています。



参加者からのメッセージ

戦略性の重要がいかに重要であるのか、例題を掲げてよく理解することができた。

昭和33年度 A組 神山 興三

学生時代の雰囲気が少し出ていました。先生と生徒の関係。

昭和36年度 E組 喜田 庄八

昭和38年に卒業して以来、初めて「同窓会」なるものに参加しました。当時は男子ばかりの古びた円形校舎で、そうしたことを懐かしく、また、イメージしながらの参加でしたが、その様がわりには、ただただ驚くばかりです。当時は淡路での校舎だったので、新しく立派な校舎にはびっくりしたことです。

昭和38年度 A組 中村 敏美

これからの人生にもよい授業でした、参考にします。ありがとうございました。来年度も参加希望です。

昭和38年度 C組 磯川 好司

楽しい勉強ありがとうございました。40年以上経っても「ベンキョウ」「ベンキョウ」

昭和42年度 D組 増本 訓



久し振りに母校を訪問して、高校時代を思い出しました。現在の地は、体育館にバレーボールの練習に旧校舎より歩いて毎日、来ていました。当時より上新庄の駅から遠かったように思いました。「歳のせいかなあ?」また、次の機会を楽しみにしています。

昭和42年度 J組 竹谷 芳夫

同期卒業生の参加が、小生一人で寂しい思いでしたが、ジャズバンド部の演奏と懐かしの授業体験を通して、青春に戻った思いで、非常に感動した1日でした。

どうもありがとうございました。

昭和43年度 K組 鈴木 善治

本日は旧友がいなく少し寂しく思いましたが、色々な面でたわいない事でも話をする事が出来て良かった。

又、次回も出席ができる様に健康に努力をしたいと思います。

参加者より



還暦同期同窓会に参加して

久しぶりに友人に会って笑顔が生まれた。
60年間の僅かな3年間ですが、先生方に出
会えて感謝（心が）思い出せました。
笑顔と感謝の向こうに人は集えるもの
ですネ。

昭和45年度 A組 橋本 俊次

林先生から北陽の歴史について話され、関
西大学との関係を懐かしく話されました。
在学中はこの様な話がなかったですが、良
い思い出になりました。
私は商業科のため、林先生との講義は初め
てでしたが大変よかったと思います。
金澤勇先生も44年度卒業生の話をして、
今後とも同窓会を開催するように頑張り
たいと思います。参加して良かったと思いま
す。

昭和45年度 A組 国府島 勇三

林先生の北陽の歴史、普段聞けないこと
懐かしく拝聴致しました。
たまには聞きたく思います。

金澤 勇先生の話は、人情味があり本当に
この学校に入学して良かったとつくづく思
いました。

昭和45年度 C組 北川 徹

時代の違いとは云え、我々が在籍していた
頃と比較し、設備も充実し明るい学園生活が
過ごせる様に感じられます。又当然の事なが
ら男子校から共学に変わった事も華やぐ環境
となったと思います。

学業レベルも数段アップし、今後さらなる
前進を期待します。

昭和45年度 C組 新谷 秀孝

在校生の気持ち良い挨拶が印象的でした。
ジャズバンド部も素晴らしかった。
林先生から北陽高校の歴史について改めて
教えて頂きました。金澤 勇先生楽しいお話
有難う御座いました。

昭和45年度 C組 林 章雄

昭和45年と言う大阪で一番力のあった時の
卒業生として、42年ぶりに来た母校でしたが、
本当に今が昔のような気がします。

子供も3人とも自立し、60歳という年にな
って学生時代は3年間でしたが、10代の最高の
思い出だと思います。

本日来るかどうかが考えましたが、やはり私も
「北陽のOBだな」と思う一日でした。

昭和45年度 G組 古川 嘉二

心の故郷（古里）北陽高校の益々の発展
を心から…

昭和45年度 G組 朝山 雄史

林先生・金澤勇先生のお話は有意義なもの
でした。

又、旧友達との授業も良かったものです。
先生達がお話し下さった思い出を大切にす
るとともに、これからの第二の人生を楽しんで
過ごしたいと思います。

昭和45年度 K組 前田 純一

有難うございました。よろしく願います。
当時は思い出して楽しかったです。

昭和45年度 A組 奥井 研児

祝 還暦 同期同窓会



ジャズバンド部の素晴らしい演奏を聴
いて感動しました。特にトランペットやサキ
ソフォンのハーモニーを聴いている時、
「関大北陽」という学校名になって発展し
ているなあと感じました。

懐かしい担任の林先生と久し振りにお
会いさせて頂き、感銘することしきりです。
懐かしの授業体験ということで北陽の歴
史をお聴かせ頂いた林先生、歳を経てか
らの活動の仕方をお聴かせ頂いたのは大
変参考になりました。

地域のコミュニティー等へ活動の輪を広
げ交流を深めていきたいと考えております。

昭和45年度 L組 山本 博史

林 敏夫先生から北陽の歴史について初
めての話を楽しく聞かせて頂きました。
金澤 勇先生から老後の気持の持ち方を聞
かせて頂き参考にさせて頂きます。
母校の益々の発展を祈ります。

昭和45年度 M組 福井 良人

42年ぶりに同期生と顔合わせて皆さん年
を取ったが、心は青年の様に懐かしい話をし

て、学生時代を思い出しました。

昭和45年度 M組 坂根 克也

今回、還暦同窓会を開いて下さり有難うご
ざいます。今日は大変有意義な一日を過ごす
事が出来ました。昔の自分を思い出しながら、
時の流れと当時の事を思い感慨深くなりまし
た。林先生や金澤 勇先生の貴重なお話を
聞き良かったです。北陽の歴史を初めて知る
話等なかなか聞くことが出来ない事を知り良
かったです。ジャズバンド部もとても上手で良
かったです。若いのに感心しました。これから
も続けて行って下さい。

昭和45年度 M組 宮城 等

42年ぶりの先生、42年ぶりの友人、42年ぶ
りの勉強、一生の思い出となりました。
今後とも宜しくお願いします。

昭和45年度 L組 橋本 和男

還暦同期同窓会に出席して出席者が少な
いのに驚きました。私と同じクラスの人3人
だけ出席でした。私と親しかった人の出席を
期待していましたが少し残念。



しかし学校内施設の見学、ジャズバンド部
による歓迎コンサート・懐かしの学生会・体験
授業などがあり大変良かった。

林先生、金澤 勇先生の北陽高校の歴
史等と今後老後をどのように生活すればよい
かというお話を聞き大変参考になりました。

昭和45年度 A組 矢頭 繁春

早いもので卒業して42年、懐かしい思い出
いっぱいです。この間には阪神大震災で家・
仕事をなくした同級生もいます。私もその一
人です。でも、今は級友も私も幸せな生活が
出来ています。それは北陽の先生に教えても
らった全てが役に立っていると思います。

今日は、なつかしく、楽しい機会をありが
とうございました。この機会を大切に今後も何
かあれば参加したいと思っています。

昭和45年度 H組 中尾 重紀



還暦同期同窓会に 欠席の先生方からの メッセージ



45年度G組担任 奈良由次先生

健康が一番の財産 光陰矢のごとし

昭和45年度卒業の皆さんも還暦を迎えられたとの事、それぞれに山あり、谷あり、泣き、笑いの人生を過ごしてこられたことでしょう。

私も今年から後期高齢者の仲間入りをし、年月の過ぎる速さを実感しております。

昭和42年4月、皆さんが丸刈りのあどけない童顔で北陽高校に入学してこられた姿を思い浮かべながらペンを取っています。

もう40年以上も前の事ではっきりした記憶を寄戻す事は出来ませんが当時は学生運動の盛んなころで北陽も丸刈りから長髪になり、学生服についてもホームルームで激しく議論していたような記憶があります。

修学旅行もそれまで九州に行っていたのを、この学年から東北地方に行くと記憶しております。いろんな思い出は尽きません。

還暦といっても今の時代人生はまだまだこれからです。これまでの人生経験を生かして一層のご活躍を期待しております。

そのために一番大切なのは健康です。健康が一番の財産です。皆様のますますのご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

同時に北陽同窓会の一層の発展を祈念致します。

体調不良のため、「還暦同期同窓会」に欠席することをお詫びします。

45年度H組担任 杉浦慶之助先生

やっと秋らしい陽気に落ち着くとか气象台は申します。同窓生のために色々ご配慮賜り感謝致します。

ところで私事、退職後は心筋梗塞、狭心症、肺炎、肺気腫と心肺にかかわる病を得て入退院を繰返すような次第で、折角の企画ながら、

ご協力致しかねるのが残念で申し訳なく思います。

例年三つ四つの学年同窓会のお招きを頂きますが、とうとう今年も全部出席をお断り致しました。

関係各位によりしくお伝え頂ければありがたいと思います。同窓会のご発展心からお祈り致します。

45年度K組担任 寸田 雅廣先生

ぜひ、出席したいとは思うものの、10年前から難病のため参加できません。

皆様によりしくお伝えください。

45年度E組担任 金澤 洋先生

皆も老けたらうな！ 残りの人生大いに楽しんでください。

欠席のご返事を頂いておりましたが、老骨に鞭を打って飛入り参加して頂きましたが、やはり無理があったようで早退されました。生活指導で鬼の金澤先生も歳には勝てない様子でした。しかし無理してでも参加される先生の姿をみて、変わっていないなと感じる同期生も多くいたのではないのでしょうか。

硬式野球部元監督 松岡 英孝先生

他の行事(先約)と重なり出席出来なくなりました。皆様によりしくお伝えください。

サッカー部元監督 野々村征武先生

第4回ということで連絡頂きましたが、私としては今回が初めての話だったので少し残念です。でも今回は喜んで参加します。

折角、参加の便りを頂いたのですが、奥様が骨折されてしまい急遽欠席の連絡を頂きました。奥様のご回復と第5回には参加して頂けるお気持ちが解りましたので、楽しみにしております。よろしく願い致します。



母 校 だ よ り

課外活動表彰

本年度は、個人部門で全国大会に出場した陸上競技部8名、水泳部6名、スケート部3名の17名が課外活動優秀賞として、また団体部門でジャズバンド部を課外活動奨励賞として表彰しました。

受賞おめでとうございます



受賞者 今後の抱負

○全国高校総体出場 3000m障害 3-G 奥田 祐介

全国大会に出場することによって、大阪とのレベルの違いや全国の雰囲気を感じることが出来ました。また、全国の選手と競うことで自分自身を鍛えることができ、自分の力がどこまで通用するのかを試すことができました。結果は思ったような残すことができなかったのですが、本当に良い経験をすることができました。

○全国高校総体出場 走り高跳び 3-I 宇佐美 諒悟

この度、全国大会に出場をしたのですが、私の中の決意が弱かったことにより、あと一歩と言うところで決勝の舞台に上がることができませんでした。決勝に進んだ選手達は、自分こそが頂点に立つと言う決意を持っていました。私はそんな彼らと勝負をする前から、決意の強さで負けていたことを知り、とても良い経験をしました。

○全国高校総体 ○日本ユース陸上競技選手権大会出場 走り高跳び 2-H 堀 一樹

今回全国インターハイと日本ユースという2つの全国大会に出場しました。しかし、表彰台に立つことはできず、全国のレベルの差を痛感しました。この2つの全国大会に2年生のうちに出場できたことはとても貴重な経験をしました。次回の新潟県で行われるインターハイでは2メートルを飛んで表彰台に立ちたいです。

○全国高校総体 ○日本ジュニア陸上競技選手権大会 ○66回国民体育大会出場

やり投げ 3-I 小林 隼

私は今年、インターハイ・国体・日本ジュニアの3つの全国大会に出場することができました。そして国体では4位入賞することができました。国体は、インターハイを経験したことであまり緊張することなく試合に臨むことができ、そしてインターハイでの予選落ちの悔しさなど強い気持ちを持つことがこの結果に繋がりました。

○全国高校総体 ○日本ジュニア陸上競技選手権大会出場 100mハードル 3-E 熊谷 美希

私は、全国インターハイでファイナリストになることを目標にやってきましたが、結果は予選落ち。力の無さを感じました。しかし、私の目標はもっと先の高いところにあるので、ここをスタートとして一段一段のぼっていきます。3年間、応援ありがとうございました。これからも、温かく見守っていただければうれしいです。

○日本ジュニア陸上競技選手権出場 800m 3-I 水間 洋太

僕は2年生のときに出場することができたインターハイに3年生では出場することができなかったのですが、最後の全国大会である日本ジュニア選手権大会に出場できて、4位入賞という形で高校での陸上競技部を終えることができ良かったです。大学でもこの結果を上回ることができる成績を残したいです。

○日本ユース陸上競技選手権大会出場 三段跳 2-D 宮田 弘輝

今回初めての日本ユース出場ですごく良い経験になりました。とくに試合本番では、全国大会の雰囲気に吞まれてしまいきなり緊張してしまったので、この経験は次のインターハイで活かせるようにしていきたいです。冬の間にしっかりとトレーニングをして次のインターハイでは、緊張せずに全国の相手に勝てるよう跳びたいです。

○日本ユース陸上競技選手権大会出場 走り高跳 1-D 中村 瑠菜

私は、日本ユースに出場したのですが、良い結果を出せずに悔しい結果で終わってしまいました。ですが、このような大きな大会に出場して学んだこともたくさんあったので、今年結果が出なかった分、冬の練習を乗り越えて来年のインターハイや日本ユースなどの大きな大会に出場して、活躍できるように頑張っていきたいです。

受賞者 今後の抱負

○全国高校総体出場

100m自由形 3-I 佐々木 雄登

僕は、3年間厳しい練習を乗り越え、努力することで目標にしていた全国大会に出場することができ、指導してくださった先生方に感謝しています。また、レベルの高い選手を見ていると、自分の努力の足りなさを実感したので、レベルの高い選手に少しでも近づけるように、努力していきたいと思いました。

○全国高校総体出場

100m背泳 3-I 前井 卓也

今年度全国高校総体に出場させて頂き、全国で戦う難しさを学びました。0.01秒というわずかな差で決勝に残ることができず、結果は大きな差となってしまいました。大学ではその悔しさをばねに努力しようと考えています。また、3年間、指導して頂いた先生方の期待にこたえられるよう頑張ります。

○全国高校総体出場

50m自由形 3-I 秋山 直大

私は、全国大会の直前に骨折しました。しかし、全国大会出場という大きな目標があったからこそ、最後まであきらめなかったと思います。その結果、全国大会に出場することが出来ました。また、怪我をしたことで、自分を支えてくれた人に対して感謝の気持ちと同時に、大きな目標を達成したことで、今までにない嬉しさを感じました。

○全国高校スケート競技選手権大会出場

フィギアスケート 1年J組 上市 葉菜子

1月21日に群馬県でインターハイがありました。全国大会なのでいつも以上に緊張しました。調子は普通に良かったけど、本番では緊張してあまり良い演技ができませんでした。来年はもっと自信が持てる練習をして笑顔で終われるインターハイにしたいです。

○全国高校スケート競技選手権大会出場

1年H組 門田 尚大

正月返上で猛練習に励んだインターハイ。ところが現地で高熱を出し満足な演技が出来なかった。自分への不甲斐なさ。支えてくださった先生方や家族にも申しわけない。しかし、全国のレベルの選手と練習を共にし、自分に足りない部分はなにか、とても勉強になった。この苦い経験が無駄にせずリベンジできるよう、努力を重ねたい。

○全国高校総体出場

50m自由形 3-I 近藤 将平

今年の夏、私は初めてインターハイに出場させて頂きました。私にとって初の全国大会だったので気合を入れて臨みましたが、緊張で実力を発揮できず全国との力を痛感し、悔し涙を流す結果となりました。大学では、この差を少しでも埋められるように練習し、再び全国大会出場の夢をかなえられるよう頑張りたいと思います。

○全国高校総体出場

200m個人メドレー 1-E 小西 雄大

インターハイに出場して感じたことは、そこでしか体感できない重圧と喜び、さらには全国の高校のトップ選手と競い合うという怖さと楽しみ。今回僕は、インターハイがなぜ高校の試合での最高の舞台と呼ばれているのかという理由がわかったのと同時に、僕自身の弱さや無力さを改めて知ることが出来たので本当に良かったです。

○全国高校総体出場

200m個人メドレー 3-D 桐原 華

私は全国大会に出場して周りにたくさん速い選手がいてすごく圧倒されました。その中で自分の納得のいくレースが出来なかったことが悔しかったです。全国大会はもちろん、どんな大会でも結果を出せるような選手になれるようにこの経験を生かして頑張っていきたいです。

○全国高校スケート競技選手権大会 国民体育大会出場

フィギアスケート 1年J組 澤井 梨紗

今年初めて関西大学北陽高校代表として群馬県前橋市で開催されたインターハイに出場しました。とても楽しみにしていましたが、翌週に国体を控えていたので万全を期したつもりでしたがインターハイの現地での前日練習の時に、スケート靴が折れてしまいジャンプに耐えられなくなり、結果を出すことが出来ませんでした。初めての経験だったので、とても悔しい思いでいっぱいです。この気持ちを忘れず、これからも努力を忘れず一生懸命頑張って練習したいと思います。



課外活動奨励賞

ジャズバンド部



関西大学北陽高等学校 ジャズバンド部顧問 手嶋 正雄 先生

平成23年度課外活動奨励賞を頂き有難うございました。

ジャズバンド部は、昨年8月21日に神戸文化ホールで行われた第27回ジャパンスチューデントジャズフェスティバルにおいて入賞を果たし、『ベストスウィング賞』を獲得しました。ジャズバンド部は、7月の定期演奏会と8月のジャパンスチューデントジャズフェスティバルが最も重要なステージとなります。これ以外の主な出演は、神戸、高槻、難波、心斎橋など各地でのジャズのイベントや音楽会、様々な出張演奏などです。

演奏はジャズのスタンダードなどが中心ですが、もちろん本校の運動部の応援の演奏にも全く別のスタイルで参加しています。これからも同窓会の「ホームカミングデー&還暦同期会」に協力させていただきますので、よろしくお願いします。

卒業予定者の進路状況

平成24年1月末現在の進路状況は、関西大学の内部進学が189名で、卒業予定者323名のうち約8割以上の生徒が内定しています。

TOPICS

陸上競技部が全国高等学校駅伝競走大会に3年連続出場

全国高校駅伝の予選を兼ねた「男子62回・女子27回大阪高校駅伝競走大会」が、11月3日(祝・木)淀川右岸河川敷コース(淀川大橋～中島公園間)で開かれ、男子は関大北陽が3年連続3度目の優勝を果たし、12月25日(日)京都市西京極陸上競技場付設マラソンコースで行われた、第62回全国高等学校駅伝競走大会に出場しました。

3度目の都大路は、前回の成績を順位、タイムとも下回る38位の惨敗に終わった。意欲が気負いに変わってしまった結果でありました。力通りに走るためには、もう一度精神面を鍛え直し、この苦い思いを忘れることなく連続4年目に挑戦したいと思います。今後とも応援よろしくお願い致します。最後になりましたが、全国大会出場にあたり、同窓会・還暦同期会からお祝いを頂き厚くお礼申し上げます。 陸上競技部顧問 米川 和宏(平成9年度卒)



同窓の近況

ハンドボールの歩み 恩師との出会い

今から33年前、昭和55年4月北陽高等学校(現関西大学北陽高校)に入学。不安と緊張の思いの中、高校生活がスタートしたことを今も鮮明に覚えている。そこで、ハンドボール競技と出会うことになるのだが、そのキーパーソンとなるのが今も母校でご活躍されている鈴木和宏先生である。当時20歳代の熱血教師の存在で、1か月以上の熱いアプローチを受け入部の経過に至ることになった。この出会いがきっかけで、私は高校卒業後も大学に進学し、よりハンドボールの魅力に引き込まれ、競技力はもとより多くの出会いからステップアップすることが出来た。大学卒業後は、教職の道に進み、ハンドボールを通して培ってきた財産を少しでも教育現場に還元出来るように、教師として、指導者として高校生と向きあってきました。

京都での府立高校23年間の教鞭に終止符を打ち、現在大学で教壇に立つ中、もちろんハンドボール競技とも深くかわりながら日々精進しています。高校時代に恩師と出会えたことで今日の自分がいます。これからも出会いを大切に、そして、卒業生としての誇りをいつまでも持ち続けながら、頑張っていきたいと思っています。

現 大阪体育大学 講師 楠本 繁生(昭和58年度卒)



「岡田監督を応援しよう会」が開催されて

硬式野球部OBの組織である北陽岡田会(鳥居敦会長)の呼びかけで実現し、オリックスVS日本ハム戦が、9月4日(日)午後1時00分から京セラドーム大阪において試合が行なわれた。

呼びかけに参集した野球部OBを中心に、同窓生とその家族、PTA役員及び先生方、そして姉妹校の関大一高同窓会役員など約300名が球場に駆けつけて、熱心に応援していただいた。試合結果はオリックスが今期2度目の7連勝に輝き、「思い出に残る時間を共有できた」とお声を頂き、第一回目としては成功であった。

今年1月14日の岡田監督の激励会において、岡田氏から「今年は優勝出来るチームである、期待してほしい」と発言があり、鳥居会長からは「今年も応援団を結成したい」と発表がありました、皆さんぜひ応援に行きましょう。

広報委員会



関東支部だより

平成23年度関東支部総会・懇談会が開催されました。

平成23年度関西大学北陽高等学校同窓会関東支部総会・懇親会が平成23年6月11日(土)14時より東京駅八重洲北口近辺にある日本橋 本陣房(そば・日本料理屋)において開催されました。

本部から神山前会長(33年卒)及び足立会長(42年卒)をお迎えし、関東支部から最年長の菊野氏(17年卒)をはじめ十時氏(37年卒)、実重氏(40年卒)、内海支部長(43年卒)、山本氏(45年卒)、國府島副支部長(45年卒)、今回初参加の豊田氏(57年卒)及び正津氏(61年卒)総勢10名で開催となりました。

足立会長から関大北陽中学校・高等学校の近況報告並びに第34回定期代議員会の審議等について報告がありました。また、國府島副支部長から本年10月頃に首都圏在住の若手・中堅の卒業したOBを対象に「今後の関東支部の在り方等について」の懇談会を開催予定していること、また、母校85周年事業として、老朽化した体育館の建替工事の着工が遅れているが、募金の案内があるので、協力方お願いについて報告を行ない、引き続き内海支部長の乾杯で懇談会が開催されました。

懇親会においては、初参加者の豊田氏及び正津氏の自己紹介から始まり、参加者同士の会話にも花が咲き和やかな雰囲気の中



で終了しました。

今回、初めてホームページからの参加申込がありました。今後ますますホームページのアクセス数を増やすことで、同窓会の輪を広げていきたいと考えておりますので、若い世代の卒業生の参加を歓迎しております。是非同窓会のホームページにアクセスしてください。 <http://www.hokuyo-ob.jp/> (関東支部 國府島 勇三)